



## 最高、八高、輝こう！ 第67回遊楽部祭を開催

7月11日～12日、八雲高校「第67回遊楽部祭」が開催され、本町通りで仮装行列やパフォーマンス披露が実施されました。仮装行列では「アンパンマン」や「ウォーリーを探せ」などをテーマに、各クラスが衣装などに工夫を凝らして行進し、沿道の人を楽しませました。このほかにも、模擬店などの催しが行われ、多くの人で賑わいました。



## バター飴発祥地ということを知ってほしい！ 八高生が考案し製品化「八雲牛乳のバター飴」

7月16日、八雲高校が総合ビジネス科の生徒が考案し製品化された「八雲牛乳のバター飴」を、札幌や丘の駅などでの販売に向け全学年で袋詰めなどに取り組みました。生徒たちは、2年前からこのバター飴の製品化に取り組んでおり、試作品の作製、製造メーカーとの交渉などを重ね商品化となりました。八高生考案のバター飴は、現在、丘の駅で販売されています。



## 医療職の専門分野を体験！地域医療を支える人材に！ 八高生「地域医療体験実習」

7月30日、将来医療職を目指す八雲高校の2年生16名が八雲総合病院で地域医療体験実習を行いました。八雲総合病院と連携し初めて実施されたこの体験実習は、薬剤師や理学療法士、管理栄養士など将来自分がなりたい職種にそれぞれ分かれ、インターンシップとはひと味違った専門的な説明や実践的な業務を体験しました。生徒たちは「体験を通し、その職種ならではの大変さと面白さを感じることが出来た」「自分が目指す職種への理解が深まった」と話していました。体験実習終了後に行われた閉会式では、各専門スタッフからの講評もあり「将来、この八雲で地域医療を支える医療人として活躍してほしい」「一緒に働ける日を楽しみにしています」と激励を受けました。



## 八雲の夏は魅力がいっぱい！ 小牧市民交流・落部地域グリーンツーリズムを実施

7月24日～27日の4日間教育委員会が主催となり、小牧児童交流を実施。夏休みを利用して愛知県小牧市の児童24名が八雲町を訪れ、八雲の児童12名と夏の八雲町をともに楽しみました。交流では、木彫り熊のペーパークラフト、キンボールなど、子ども達は元気いっぱい一緒に遊びました。

また、7月28日～30日の3日間小牧市・八雲町交流市民の会が主催し、交流会ツアー2015を実施し、小牧市からは22名の市民が参加しました。東野の漁師の漁船で「イルカウォッチング」や「釣り」、八雲の町中では「まち歩き」で、徳川公園の熊檻や梅村庭園などを巡り、開拓の歴史等をガイドの話に耳をかたむけ楽しみました。

7月29日～31日の3日間には、福島県で東日本大震災により被災した福島の子供達を支援する「ふくしまキッズ」プロジェクトに参加した子ども達を、八雲町産業連携促進協議会が主体となり受け入れ、落部地域グリーンツーリズムを実施しました。ふくしまキッズの6名は、落部の各家庭にホームステイし、地元の子供達とともに鉄工所でのサイコロづくりや農家での軟白ネギの苗の移植作業の手伝いなど、地元住人達に見守られながら落部でしかできないことを体験し、笑顔いっぱい八雲の夏を満喫しました。

